



希望の鐘 *The Bell of Hope*



The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町7-16

tel : 049-226-2491 fax : 049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA, 7-16 Sugawara-cho, Kawagoe, Saitama 350-0046 Japan

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 20-09

3月号

発行 2019年3月15日

Chartered 1998

会長	森下 千恵子	クラブ会長主題	「ワイズメンズクラブを楽しもう！」
副会長	松川 厚子	国際会長主題	“Yes, we can change” [私たちは変えられる]
会計	山崎 純子	アジア太平洋地域会長主題	“Action” 「アクション」
書記	吉野 勝三郎	東日本区理事主題	「成せば、成る」 No challenge, No fruit.
		関東東部部長主題	「良いものを見つけ・つなげて、よくなるう」

3月の聖書

草は枯れ、花はしぼむが、わたしたちの神の言葉はとこしえに立つ。

旧約聖書 イザヤ書 40章 8節

The grass withers and the flowers fall, but the word of our God stands forever.

(Isaiah 40:8)

2月例会の報告

吉野 勝三郎

- 開会
点鐘・信条・ワイズソング
- 卓話者紹介および卓話依頼の視点 利根川恵子
・卓話者：宮澤新樹さん
(宮澤章二さんのご子息)
利根川恵子さんも森下千恵子さんも、旧大宮市の時代に宮澤新樹さんと知り合いで、お父さんが著名な詩人であることは知っていた。今日は、お父さんの詩作のことだけでなく、本人も有能・多才で、公務引退後もさまざまな社会活動で多忙な日々を送っておられる一端を語ってもらいます。
- 卓話概要
・宮澤章二とラジオ歌謡
ラジオ歌謡というと、「朝はどこから」「夏の思い出」「森の水車」などが有名ですが、宮澤章二は、最大の46曲を作詞している。2番目がサトウハチローの36曲。
・宮澤章二と校歌
全国で300校、うち埼玉県内200校。川越市内では、上戸小、鯨井中、寺尾中、霞ヶ関小校歌。依頼があると、必ず現地を訪ねて、その学校に一番相応しい詩を書いていた。
利根川恵子さんが奉職されていた、上尾南高校の校歌も宮澤章二の作詞。
また、合唱曲も手がけていて、当日、例会に出席していた、山崎純子さんは、都内の学校の音楽教師だった時に、宮澤章二さんの合唱曲を生徒さんに教えて歌ったことがあることが披露されました。
・宮澤章二と埼玉県

2019年1月の統計 (2月23日)

在籍11名 出席者9名 出席率 82%

2019年 3月 例会予告

日時：3月22日(金) 午後6:00～8:00

場所：ロアゾープルー

(埼玉YMCA川越センターの隣)

プログラム

- リーダーボランティア送別会
埼玉YMCA川越センターで活躍してくれた、木下遥七(きのした はるな)さん、リーダー名“あーる”の送別会です。ぜひ、多くのメンバーが出席して、彼女の今までの活動に感謝し、今後も、機会を見てYMCAに関ってもらえることを期待しましょう。
なお、現役のリーダーも2～3名出席予定です。

その他の議題

- 20周年記念例会準備確認と今後の予定
- その他

埼玉に生まれ、住み、埼玉について書いた人は非常に珍しい。

・宮澤章二と博物館

県立さいたま文学館（桶川市）には宮澤章二に因んだ資料が保管されている。（調べてみると516点ありました。）

又、羽生市立三田ヶ谷小学校には宮澤章二記念館がある。

・宮澤章二と東日本大震災

これは、2011年の大震災後、繰り返し放映されたテレビCMや新聞広告で引用された言葉です。



せっかくですので、この詩の初めの部分から紹介します。

あなたの「こころ」はどんな形ですか
ひとに聞かれたても答えようがない
自分にも他人にも「こころ」は見えない
けれど ほんとうに見えないのであろうか

確かに「こころ」はだれにも見えない
けれど「こころづかい」は見えるものだ
それは 人に対する積極的な行為だから

—後略—

・宮澤新樹さんと音楽

口琴演奏家で、卓話の中で、音色を披露してくれた。

東日本大震災支援の一環として、昨年2月18日に、川越にある、尚美学園大学で、「ビートルズのチカラ！東北『復興』ツアーライブ」を開催。

一時間弱の卓話でしたが、内容豊富で、上記はそのほんの一部です。多くの方に聞いて欲しかったです。



4. 例会議事

(1)20周年例会について

- ①お祝いの言葉の原稿を、宮内友弥東日本区理事、衣笠輝夫関東東部部長、小谷全人埼玉YMCA総主事に依頼する。
- ②最優秀クラブ賞を受賞しているので、その時期を確認する。
- ③現在の会員全員に4000字位で、20周年に因む原稿を書いてもらう。
- ④予算案(別紙)説明 山崎さん

(2)次期クラブ役員研修会参加者

(3)東日本区大会の件

(4)アジア・パシフィックエリア大会（仙台）の件

5. 閉会点鐘

次期会長・部役員研修会報告

次期会長 吉野 勝三郎

上記の研修会に川越クラブの次期会長として参加しましたので、その概要をお知らせします。なお、川越クラブからは、山本剛史郎メンがLT（Leaders' Training）委員として、また、日曜礼拝の奨励者として重要な奉仕をされました。

1. EMC(Extension, Membership and Conservation)
クラブ拡張・会員増強・維持啓発

この課題は、次期会員増強事業主任 札埜（ふだの）慶一メン（熱海クラブ）が担当されます。

- (1) 2022年を目標に、東・西に日本区が分かれた1997年の東日本区の会員数1,246に戻す運動を展開する。因みに、2019年1月1日現在の東日本区の会員数は、866名。
- (2) 上記の目標達成のため：
 - 現在の会員増強事業委員は、2022年まで継続して担当する。
 - 国際ルールで、新クラブは5人から設立できることになったので、積極的に新クラブの設立を目指す。
 - 各クラブは、自クラブの維持に力点が置かれ、ワイズの活動が外部に十分発信されていないことの改善として、Facebook (SNS) の活用を全クラブに奨励し、立ち上げ費用は区が負担する。
 - キリスト教色の演出の強弱は、各クラブの実情に応じた判断に委ねる。
- (3) 会員増強に大きな実績を挙げてきている、森田恵三メン（京都ウエスト）が情熱を込めて一時間以上に亘って語ってくれ、私も大いに触発されました。

いくつかヒントを得たので、次期川越クラブ会長として、実行可能なプログラムを提案して行きたい。



集合写真



早朝ウオークは、衣笠輝夫メンの案内で、明治神宮境内を歩きました。

2. 次期東日本区理事、山田敏明メン（十勝クラブ）の主要課題

主題「勇気ある変革、愛ある行動！！」
 Innovation with courage, action with heart!

副題「皆でチカラを合わせて、1・2・3」
 Hop, Step and Jump with all Y' s Men!

- (1) EMC が最大の課題
- (2) 広報活動 ——Facebook 他
- (3) 仙台でのアジア太平洋地域大会(7月19-21日)
- (4) 新しいリーダーの養成
- (5) YMCA とのパートナーシップ

例年、この研修会の会場は御殿場の東山荘でしたが、今年は、都内、代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターでした。そのためか、参加登録者数111名という、大規模な会合でした。当日は、西日本区でも同じ次期会長・部役員研修が行われ、YMCA 同盟からは、光永尚生氏に代わって、有田征彦氏が「YMCA 理解」のコマを担当されました。

川越クラブからは、4月27日（土）の20周年記念例会のチラシを全員に配布し、更に、夕食会のアピールタイムで山本剛史郎メンと一緒に大いにPRしてきました。

YMCA 報告

<クローバーの高校生&リーダーが卒業します>

川越ワイズメンズクラブの皆様には、日頃から特に埼玉 YMCA の特別支援教育をサポートしていただき感謝申し上げます。2018年度の活動もまもなく終了となります。

今年は、2014年9月に開所した放課後等デイサービスから7名の高校生が卒業します。毎週土曜日、予算600円でバランスのとれたメニューを自分達で作り、心もお腹も満たされた穏やかな活動でした。また、大学1年生からボランティアリーダーとして活動を続け、放課後等デイサービスの指導員としても子どもたちに温かく寄り添い続けてくれた”あーるリーダー”も同時に卒業となります。

小さなセンターではありますが、縁があつてこの地で出会うことができた彼らの卒業を心からお祝いしたいと思います。4月からはそれぞれが新しい環境となりますが、埼玉 YMCA での経験が今後の彼らのエネルギーになってくれたらと願っています。

